

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年9月17日

公表: 令和4年9月20日

事業所名: ルシェル 江端

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・場面に応じてグループ分けを行い安全を確保している。	・年齢差があるため、場所では区別している。 ・動く療育は狭く感じる。
	2	職員の配置数は適切である	○		・業務に支障がないよう無理せず行っている。	・職員一人一人に余裕がある勤務を行っていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・なるべく段差がないように工夫している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・利用児の対応に関してPDCAサイクルを行うことができてはいるが、それ以外の事に関してPDCAサイクルを行わなければならない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・今回は初の評価表を配布したため、今後、活用していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		・公開する予定である。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・まだ行えていないため、今後、業務改善につなげていく。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・外部研修、月に1度の研修を行っている。	・今後も継続して研修を行い、更に資質の向上に努めていく。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・身辺自立や他者との関わり方を中心としている。	・デイで指導・支援するだけでなく、ご家庭での様子も把握し、より利用児の支援に繋がるようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・標準化されたアセスメントツールは使用できていないため、使用していただけるようにしていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・意図した内容を提供できるようにしている。	・今後は内容を深めながら、サービス提供に努めていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・新しい療育内容を取り入れている。	・新しい内容を取り入れていながら、利用児が楽しめるような内容にしていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・利用児の課題を設定するようにしている。	・今後は利用児、それぞれの課題だけでなく、事業所全体の課題も支援していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・利用児、ご家庭のニーズを元に計画を作成している。	・個別療育と集団療育の特性を活かし、それぞれを組み合わせた計画を作成していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎日、話し合う時間を設けている。	・今後も継続して行い、より深い支援が行えるようにしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・時間の関係上その日には出来ないが翌日に行っている。	・今後も振り返りの内容は職員個人個人で反省・改善できる場所を行いつつ、職員間で情報共有していく。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・今後も記録をとっていき支援につなげていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・その都度、見直しの必要性を判断している。 ・モニタリングは定期的に行い、計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○		・まだ不十分であるため、今後は継続して行えるようにしていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・利用児、保護者様に寄り添いながら参画している。 ・管理者、児発管が担当者会議に出席し、参加している。利用児、保護者様に寄り添っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・情報共有、連絡調整は積極的に参加するようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	・医療的ケアが必要な利用児は受け入れておらず。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・情報共有を行いながら、関係機関がスムーズに支援できるように相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	・まだ卒業した人がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・独自の研修はしているが、専門機関は介入していない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・まだ関わる機会が設けられていないため、今後は継続して行えるようにしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	協議会の参加はしていないが、発達支援センター主催の会には参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎の時間を利用して、その日の様子や、課題、それに対する対応の仕方など話し合いを行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	・ペアレント・トレーニングは行っていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時や利用開始後、その都度、説明を行わせてもらっている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談があった場合などは、職員間で情報共有を行いながら、助言と支援を行えるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・保護者会等は開催することができていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情があった場合には、事実確認や情報収集を行いながら、適切かつ迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・SNSにて発信している。
	35	個人情報に十分注意している	○		・写真の扱いやその他の事に関しても本人の個人情報に充分注意している。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・口頭で伝えるだけでなく、書面で用意し、視覚的にもわかりやすく伝えるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・今後、検討していきたいと考えている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・契約時などマニュアルを見てもらい伝えている。職員がいつでも見られるように掲示している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・月に1度、防災の療育を行っており、今後も継続して行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・定期的に研修を行い、資質の向上に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・3原則に当てはまるのかを考えながら話し合いを行っている。 ・身体拘束の話し合いを行い、本人や保護者様に説明し、計画に記載を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・現在、医師の指示書による対応はなされていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	・情報共有できるように意識して行っている。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和4年9月20日

アンケート期間: 令和4年9月1日～令和4年9月15日

事業所名 ルシエル 江端

保護者等数(原章数)18名 回収数16名割合 80%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1			・写真を見て感じた。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10			4		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11			3		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	13			1		
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	14					
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5		2	7		
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13			1		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	2				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	5	3		・コロナで施設に行っていない。	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	6	2		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	1	3		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13			1		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8		2	4	lineの写真が楽しみ。	・今後も続けていく。
14	個人情報に十分注意しているか	12	1		1			
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	1	1	3		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1		5		
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	14				・楽しみにしている。	
	18	事業所の支援に満足しているか	14					

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年9月17日

公表 公表: 令和4年9月20日

事業所名 ルシェル 江端

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・小グループに分け、安全を確保していきながら療育を行っている。	・動く療育の際は狭く感じるため、危険がないよう配慮しながら、安全を確保していく。
	2 職員の配置数は適切である	○		・業務に支障がないよう無理せず行っている。	・体調不良者が出た時は、今よりもスムーズに対応できるようにしていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・視覚支援のための工夫がより必要ではあるが、視覚的にもわかりやすく、配慮している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・その都度、清潔に保てるように環境を整えるように努めている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・利用児の対応の内容や日々の業務に関して、話し合いを行えるようにしている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・今回が初の評価表を配布したため、今後、活用していく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		・公開する予定である。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・まだ行えていないため、今後、業務改善につなげていく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・外部研修、月に1度の研修を行えるよう努めている。	・今後も継続して研修を行い、更に資質の向上に努めていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・身辺自立や他者との関わり方を中心としている。	・デイで指導・支援するだけでなく、ご家庭での様子も把握し、より利用児の支援に繋がるようにしている。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・標準化されたアセスメントツールは使用できていないため、使用していけるようにしていく。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・支援計画のガイドラインに沿って、発達支援、家族支援、地域支援等の項目を盛り込み、支援内容も設定している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・発達支援に沿った支援が行えるよう努めている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・意図した内容を提供できるようにしている。	・今後は内容を深めながら、サービス提供に努めていく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・新しい療育内容を取り入れている。	・新しい内容を取り入れていきながら、利用児が楽しめるような内容にしていく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・利用児、ご家庭のニーズを元に計画を作成している。	・個別療育と集団療育の特性を活かし、それぞれを組み合わせた計画を作成していく。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎日、話し合う時間を設けている。	・今後も継続して行い、より深い支援が行えるようにしていく。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・時間の関係上その日には出来ないが翌日に行っている。	・今後も振り返りの内容は職員個人個人で反省・改善できるところを行いながら、職員間で情報共有していく。
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・今後も記録をとっていき支援につなげていく。	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	・その都度、見直しの必要性を判断している。	・モニタリングは定期的に行い、計画の見直しを行っている。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	・利用児、保護者様に寄り添いながら参画している。	・管理者、児発管が担当者会議に出席し、参加している。利用児、保護者様に寄り添っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	・発達支援センターや相談支援専門員等の方々と連携に努めている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・医療的ケア、重症心身障害児等の利用児は利用していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・医療的ケア、重症心身障害児等の利用児は利用していない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・移行支援は行っておらず。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・移行支援は行っておらず。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	・専門機関と細目に連絡を取り合っており、研修にも参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・コロナの関係で、関わる機会が持ていないため、今後は少しずつ増やしていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		協議会の参加はしていないが、発達支援センター主催の会には参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎の時間を利用して、その日の様子や、課題、それに対する対応の仕方など話し合いを行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・ペアレント・トレーニングは行っていない。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時や利用開始後、その都度、説明を行わせてもらっている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	・ガイドラインのねらいをもとに本人、保護者様のニーズをお伺いして計画を作成し、同意を得るようにしている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談があった場合などは、職員間で情報共有を行いながら、助言と支援を行えるようにしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・保護者会等は開催することができていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情があった場合には、事実確認や情報収集を行いながら、適切かつ迅速に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・SNSでの発信、個別では写真等を送っている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・写真の扱いやその他の事に関しても本人の個人情報に充分注意している。

	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・視覚的支援や日々の利用児の様子をSNSに発信している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・コロナの関係で安全性を確保するために、
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			・契約時などマニュアルを見てもらい伝えている。職員がいつでも見られるように掲示している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・月に1度、防災の療育を行っており、今後も継続して行っていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・アセスメントを記入してもらい、情報共有を行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			・現在、医師の指示書による対応はなされていない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			・情報共有できるように意識して行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・職員一人一人が考える事ができる機会を設けている。	・定期的に研修を行い、資質の向上に努めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・3原則に当てはまるのかを考えながら話し合いを行っている。	・身体拘束の話し合いを行い、本人や保護者様に説明し、計画に記載を行っている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和4年9月20日

アンケート期間: 令和4年9月1日～令和4年9月15日

事業所名 ルシェル 江端

保護者等数(児童数)7名 回収数 割合 90%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5			1		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5			1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4			2		
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3			3		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5			1		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	1				
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		1	1		
保護者への 説明	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	6					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	3	1	1	1		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	1		2		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				4	2	

等	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4			2		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3		1	2		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	5			1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	4	1		1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1		1		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5			1		
	23	事業所の支援に満足しているか	5	1				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。